



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月10日
東

上場会社名 株式会社芝浦電子 上場取引所
 コード番号 6957 URL <http://www.shibaura-e.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 葛西 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員 (氏名) 細井 和郎 (TEL) 048-615-4000
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	25,175	△3.8	3,136	36.8	3,162	32.2	2,233	27.8
2020年3月期	26,166	△3.5	2,291	△17.8	2,392	△16.5	1,747	△15.0

(注) 包括利益 2021年3月期 1,946百万円(△2.7%) 2020年3月期 2,000百万円(11.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	289.57	—	9.0	8.9	12.5
2020年3月期	226.72	—	7.5	7.0	8.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	37,265	25,467	68.2	3,295.67
2020年3月期	33,575	24,101	71.6	3,119.91

(参考) 自己資本 2021年3月期 25,432百万円 2020年3月期 24,052百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,969	△552	1,315	11,539
2020年3月期	3,323	△2,162	△1,468	6,812

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00	582	33.1	2.5
2021年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00	582	25.9	2.3
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00		29.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,200	26.3	2,050	144.7	2,040	147.7	1,230	119.7	159.45
通期	28,500	13.2	4,100	30.7	4,050	28.1	2,640	18.2	342.23

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	7,779,865株	2020年3月期	7,779,865株
② 期末自己株式数	2021年3月期	62,894株	2020年3月期	70,498株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	7,714,068株	2020年3月期	7,708,277株

(注) 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が所有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,664	△0.7	1,130	94.1	1,557	62.7	1,157	56.7
2020年3月期	20,814	△3.9	582	△29.8	956	△9.5	738	△3.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	150.02		—					
2020年3月期	95.83		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	27,425	11,455	41.8	1,484.52
2020年3月期	22,003	10,906	49.6	1,414.73

(参考) 自己資本 2021年3月期 11,455百万円 2020年3月期 10,906百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

・当社は、2021年5月25日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 14
(継続企業の前提に関する注記)	P. 14
(セグメント情報等)	P. 14
(1株当たり情報)	P. 17
(重要な後発事象)	P. 17
4. その他	P. 18
(1) 役員の変動	P. 18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く世界の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響による経済活動の制限等で、第1四半期には大幅な景気減速が見られましたが、各国で実施された経済政策等で、第2四半期以降社会経済活動が徐々に再開され、景気も回復基調が続きました。

中国では早期に経済活動が再開され、景気の回復が続いています。米国は政権交代に伴う大規模な経済対策や雇用対策の実施等から、景気は回復基調にあります。また欧州ではユーロ圏の主要国では、新型コロナウイルス感染症の再拡大による活動制限が長期化していますが、中国など海外経済の回復に支えられ、景気は回復基調にあります。一方国内経済は各種の経済対策等で景気回復が見られましたが、変異株の流行など感染再拡大や、米中対立の懸念等により、景気の先行きは不透明な状況です。

このような状況のなか、当社グループにおいても新型コロナウイルスの感染症予防に積極的に取り組んだ他、製造面では利益体質の強化のため、各工場で製造工程を見直し、改善活動を積極的に行いました。一方販売面では対面営業が制限される中、中期的展望を視野にテレワーク等の活用により営業活動を積極的に展開してまいりました。当社グループの業績は、第3四半期以降素子の需要の回復や、車載用、家電用センサの需要増加等により顕著に回復してまいりました。

その結果、主な用途別売上高では、空調用センサは53億7千9百万円（前期比6.4%減）、家電用センサは38億1百万円（前期比9.5%増）、自動車用センサは32億1千1百万円（前期比4.8%減）、住設用センサは21億5千6百万円（前期比3.9%減）、OA機器用センサは17億8百万円（前期比14.5%減）、産業機器用センサは11億8千3百万円（前期比8.2%減）となりました。また、素子の売上高は70億9千2百万円（前期比2.7%減）となり、その内、車載用は46億5千8百万円（前期比6.3%減）となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は前期比3.8%減の251億7千5百万円となりました。損益面におきましては、営業利益は31億3千6百万円（前期比36.8%増）、経常利益は31億6千2百万円（前期比32.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は22億3千3百万円（前期比27.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①日本

売上高は家電用センサの需要が拡大した一方、自動車用センサ及び素子等の需要が減少したことにより、206億6千4百万円（前期比0.7%減）となりました。営業利益は経費削減により、29億2千1百万円（前期比36.0%増）となりました。

②アジア

売上高は空調用センサ及びOA機器用センサの需要が減少したことにより、142億5千3百万円（前期比3.2%減）となりました。営業利益は経費削減により、9億5千万円（前期比7.1%増）となりました。

③ヨーロッパ

売上高は車載用素子の需要が拡大したことにより、10億7百万円（前期比6.8%増）となりました。営業利益は販売の増加により、9千3百万円（前期比59.1%増）となりました。

④アメリカ

売上高は車載用素子の需要が減少したことにより、4億3千7百万円（前期比20.1%減）となりました。営業利益は販売の減少により、1千4百万円（前期比60.2%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末比36億8千9百万円(11.0%)増加し、372億6千5百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末比49億1千6百万円(22.6%)増加の266億5千7百万円、固定資産は前連結会計年度末比12億2千7百万円(10.4%)減少の106億7百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に鑑み、事業に必要な資金を安定的に確保するために金融機関から30億円の資金調達及び経費削減を実施したこと等により現金及び預金が47億4千4百万円増加したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、減価償却が進んだこと等によるものであります。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末比23億2千2百万円(24.5%)増加の117億9千7百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末比9億6千1百万円(13.3%)増加の81億8千9百万円、固定負債は、前連結会計年度末比13億6千1百万円(60.6%)増加の36億7百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、短期借入金が5億2千4百万円増加したこと及び未払法人税等が3億2千8百万円増加したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、長期借入金の増加等によるものであります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末比13億6千6百万円(5.7%)増加し、254億6千7百万円となりました。

純資産増加の主な要因は、利益剰余金の増加であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の71.6%から68.2%となりました。期末発行済株式総数に基づく1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の3,119円91銭から3,295円67銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、115億3千9百万円となり、前連結会計年度末比47億2千7百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、39億6千9百万円(前期33億2千3百万円)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益31億7千4百万円、減価償却費16億8千3百万円等の資金の増加が、法人税等の支払額5億4千3百万円等の資金の減少を大幅に上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億5千2百万円(前期21億6千2百万円)となりました。これは主に、(株)福島芝浦電子のサーミスタ素子生産能力増強のための機械導入に伴う有形固定資産の取得による支出4億8千1百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、13億1千5百万円(前期は使用した資金14億6千8百万円)となりました。これは主に、長期借入れによる収入30億円の資金の増加が、長期借入金の返済による支出11億円及び配当金の支払5億8千2百万円等の資金の減少を上回ったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の懸念は残るものの、ワクチン接種が広がり、また各国の経済対策等により、景気の回復基調が続くと見込んでおります。

一方で国内経済は、変異型ウイルスの増加や、米中対立など、景気の先行きに不透明さはあるものの、中国をはじめとした海外経済の回復の影響等から輸出がけん引し、景気は緩やかに回復するものと見込んでおります。

このような状況のなか、中長期的にはサーミスタ素子及び温度センサの需要は引き続き堅調に推移していくものと考えています。当社グループとしては、研究、開発体制をさらに強化して製品開発に取り組む等、温度センサ分野でのシェア拡大に向けた積極的な事業展開を進めてまいります。具体的には、ハイブリッド車や電気自動車等、環境対応車での搭載、省エネ家電での搭載等の増加を目指し、技術と販売が一体となった営業推進を引き続き展開し、既存市場の掘り起こしや、欧米、中国等海外市場での売上拡大を図ってまいります。また、製造工程の効率化推進等、全社をあげて生産性の向上に取り組み、収益力の強化を図ってまいります。さらには今後の受注増加に対応できるよう設備増設等、業績拡大に資する設備投資を積極的に実施してまいります。

2022年3月期の業績見通しにつきましては、売上高は285億円（前期比13.2%増）、営業利益は41億円（前期比30.7%増）、経常利益は40億5千万円（前期比28.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は26億4千万円（前期比18.2%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは期間比較可能性等を考慮し日本基準を適用しており、当面変更の予定はありません。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,151,846	11,896,410
受取手形及び売掛金	6,065,784	6,059,863
電子記録債権	978,130	1,034,802
商品及び製品	1,915,802	1,603,312
仕掛品	3,183,476	3,537,680
原材料及び貯蔵品	1,479,057	1,425,675
未収入金	827,519	970,643
その他	138,642	128,662
流動資産合計	21,740,259	26,657,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,533,295	10,373,178
減価償却累計額	△5,458,709	△5,806,888
建物及び構築物(純額)	5,074,585	4,566,290
機械装置及び運搬具	16,041,202	16,225,579
減価償却累計額	△12,325,559	△13,173,832
機械装置及び運搬具(純額)	3,715,643	3,051,746
土地	882,150	863,667
建設仮勘定	544,735	308,557
その他	1,792,543	1,794,376
減価償却累計額	△1,523,014	△1,556,905
その他(純額)	269,528	237,471
有形固定資産合計	10,486,643	9,027,733
無形固定資産	150,736	249,105
投資その他の資産		
投資有価証券	412,196	355,465
退職給付に係る資産	409,636	582,754
繰延税金資産	211,348	227,225
その他	164,992	165,691
投資その他の資産合計	1,198,174	1,331,137
固定資産合計	11,835,554	10,607,976
資産合計	33,575,813	37,265,026

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,008,866	4,061,972
短期借入金	959,009	1,483,536
未払法人税等	266,259	594,854
未払消費税等	177,657	250,556
賞与引当金	472,839	496,032
役員賞与引当金	60,000	50,000
その他	1,284,140	1,253,001
流動負債合計	7,228,772	8,189,954
固定負債		
長期借入金	1,856,947	3,219,061
繰延税金負債	31,355	101,457
役員報酬BIP信託引当金	58,089	64,782
退職給付に係る負債	188,112	163,517
資産除去債務	12,327	12,610
その他	99,162	46,305
固定負債合計	2,245,993	3,607,733
負債合計	9,474,765	11,797,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,612	2,144,612
資本剰余金	2,090,704	2,098,588
利益剰余金	18,705,230	20,356,010
自己株式	△125,135	△111,623
株主資本合計	22,815,412	24,487,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	241,047	202,523
為替換算調整勘定	1,040,063	789,920
退職給付に係る調整累計額	△43,976	△47,434
その他の包括利益累計額合計	1,237,134	945,009
非支配株主持分	48,500	34,741
純資産合計	24,101,047	25,467,338
負債純資産合計	33,575,813	37,265,026

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	26,166,691	25,175,233
売上原価	20,440,791	18,944,215
売上総利益	5,725,899	6,231,018
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	308,705	312,017
広告宣伝費	14,934	16,818
給料手当及び賞与	1,314,499	1,231,022
賞与引当金繰入額	133,501	115,597
役員賞与引当金繰入額	60,000	50,000
退職給付費用	112,216	30,464
役員報酬B I P信託引当金繰入額	16,584	20,519
法定福利費	199,694	178,338
旅費及び交通費	147,538	60,035
通信費	29,277	28,872
支払手数料	286,259	312,337
賃借料	1,644	1,028
減価償却費	82,801	95,022
その他	726,311	642,550
販売費及び一般管理費合計	3,433,971	3,094,626
営業利益	2,291,928	3,136,391
営業外収益		
受取利息	3,602	4,050
受取配当金	5,678	5,610
為替差益	43,401	—
受取地代家賃	11,705	12,452
受取保険金	2,365	2,479
助成金収入	16,585	85,231
保険解約返戻金	11,925	9,474
その他	19,045	16,252
営業外収益合計	114,309	135,552
営業外費用		
支払利息	10,253	12,850
支払補償費	20	288
為替差損	—	91,875
その他	3,873	4,340
営業外費用合計	14,146	109,354
経常利益	2,392,091	3,162,589

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	302	325
補助金収入	194,500	95,300
特別利益合計	194,802	95,625
特別損失		
固定資産処分損	25,248	16,944
固定資産圧縮損	115,207	66,969
投資有価証券評価損	15,990	—
減損損失	37,765	—
特別損失合計	194,212	83,913
税金等調整前当期純利益	2,392,682	3,174,301
法人税、住民税及び事業税	642,379	862,240
法人税等調整額	△620	73,920
法人税等合計	641,758	936,160
当期純利益	1,750,923	2,238,140
非支配株主に帰属する当期純利益	3,273	4,364
親会社株主に帰属する当期純利益	1,747,649	2,233,776

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,750,923	2,238,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,247	△38,523
為替換算調整勘定	208,847	△250,143
退職給付に係る調整額	△3,422	△3,457
その他の包括利益合計	249,671	△292,124
包括利益	2,000,595	1,946,015
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,997,321	1,941,651
非支配株主に係る包括利益	3,273	4,364

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,144,612	2,090,704	17,540,578	△130,498	21,645,397
当期変動額					
剰余金の配当			△582,998		△582,998
親会社株主に帰属する当期純利益			1,747,649		1,747,649
自己株式の取得				△91	△91
自己株式の処分				5,455	5,455
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,164,651	5,363	1,170,014
当期末残高	2,144,612	2,090,704	18,705,230	△125,135	22,815,412

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	196,800	831,216	△40,553	987,462	45,381	22,678,241
当期変動額						
剰余金の配当						△582,998
親会社株主に帰属する当期純利益						1,747,649
自己株式の取得						△91
自己株式の処分						5,455
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	44,247	208,847	△3,422	249,671	3,118	252,790
当期変動額合計	44,247	208,847	△3,422	249,671	3,118	1,422,805
当期末残高	241,047	1,040,063	△43,976	1,237,134	48,500	24,101,047

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,144,612	2,090,704	18,705,230	△125,135	22,815,412
当期変動額					
剰余金の配当			△582,996		△582,996
親会社株主に帰属する当期純利益			2,233,776		2,233,776
自己株式の取得				△314	△314
自己株式の処分				13,826	13,826
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		7,883			7,883
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	7,883	1,650,780	13,511	1,672,175
当期末残高	2,144,612	2,098,588	20,356,010	△111,623	24,487,587

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	241,047	1,040,063	△43,976	1,237,134	48,500	24,101,047
当期変動額						
剰余金の配当						△582,996
親会社株主に帰属する当期純利益						2,233,776
自己株式の取得						△314
自己株式の処分						13,826
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						7,883
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△38,523	△250,143	△3,457	△292,124	△13,759	△305,884
当期変動額合計	△38,523	△250,143	△3,457	△292,124	△13,759	1,366,291
当期末残高	202,523	789,920	△47,434	945,009	34,741	25,467,338

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,392,682	3,174,301
減価償却費	1,967,946	1,683,064
減損損失	37,765	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△400	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,555	23,193
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,000	△10,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△43,115	△198,096
役員報酬BIP信託引当金の増減額(△は減少)	11,129	6,692
受取利息及び受取配当金	△9,281	△9,661
支払利息	10,253	12,850
為替差損益(△は益)	△21,520	4,562
固定資産処分損益(△は益)	24,945	16,618
固定資産圧縮損	115,207	66,969
投資有価証券評価損益(△は益)	15,990	—
補助金収入	△194,500	△95,300
売上債権の増減額(△は増加)	357,457	△137,010
たな卸資産の増減額(△は増加)	116,584	△64,419
未収入金の増減額(△は増加)	△13,537	△10,511
未収消費税等の増減額(△は増加)	60,735	△133,884
その他の流動資産の増減額(△は増加)	11,176	14,039
仕入債務の増減額(△は減少)	△300,805	143,144
未払消費税等の増減額(△は減少)	89,671	72,899
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△612,757	13,840
その他	3,509	△57,894
小計	4,033,694	4,515,400
利息及び配当金の受取額	9,326	9,993
利息の支払額	△9,878	△13,151
法人税等の支払額	△738,337	△543,155
法人税等の還付額	28,443	31
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,323,248	3,969,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△329,168	△435,147
定期預金の払戻による収入	297,589	419,648
有形固定資産の取得による支出	△2,251,982	△481,185
有形固定資産の売却による収入	613	1,347
無形固定資産の取得による支出	△69,703	△149,152
補助金の受取額	194,500	95,300
その他	△3,943	△2,851
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,162,094	△552,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	143,594	135,306
短期借入金の返済による支出	△143,594	△135,306
長期借入れによる収入	100,000	3,000,000
長期借入金の返済による支出	△988,228	△1,100,833
自己株式の取得による支出	△91	△314
自己株式の処分による収入	5,455	13,826
配当金の支払額	△582,143	△582,453
非支配株主への配当金の支払額	△91	△266
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△10,085
その他	△3,394	△4,495
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,468,493	1,315,378
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51,305	△5,388
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△358,644	4,727,066
現金及び現金同等物の期首残高	7,170,792	6,812,147
現金及び現金同等物の期末残高	6,812,147	11,539,214

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、代表取締役社長が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にサーミスタを生産・販売しており、国内においては当社が、海外においてはアジア(主に中国、タイ)、ヨーロッパ及びアメリカを現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」、「ヨーロッパ」及び「アメリカ」の4つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、サーミスタのほか、温・湿度センサ及びその他の製品を生産・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	アメリカ	
売上高					
外部顧客への売上高	15,620,398	9,149,781	861,444	535,067	26,166,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,193,541	5,580,550	81,479	13,414	10,868,985
計	20,813,940	14,730,331	942,923	548,482	37,035,677
セグメント利益	2,147,641	887,863	58,860	35,357	3,129,723
セグメント資産	22,244,256	11,664,241	331,102	160,802	34,400,403
その他の項目					
減価償却費	1,344,929	614,771	807	822	1,961,330
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,735,598	384,362	—	86	2,120,048

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	アメリカ	
売上高					
外部顧客への売上高	15,072,071	8,757,115	915,859	430,186	25,175,233
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,592,409	5,496,832	91,582	7,806	11,188,630
計	20,664,480	14,253,947	1,007,442	437,993	36,363,864
セグメント利益	2,921,779	950,719	93,623	14,063	3,980,185
セグメント資産	22,219,891	11,566,962	376,738	161,992	34,325,585
その他の項目					
減価償却費	1,062,569	613,965	231	701	1,677,467
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	403,173	123,971	92	113	527,350

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	37,035,677	36,363,864
セグメント間取引消去	△10,868,985	△11,188,630
連結財務諸表の売上高	26,166,691	25,175,233

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,129,723	3,980,185
セグメント間取引消去	35,474	△54,712
全社費用(注)	△873,269	△789,081
連結財務諸表の営業利益	2,291,928	3,136,391

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	34,400,403	34,325,585
セグメント間取引消去	△5,243,340	△5,882,625
全社資産(注)	4,418,750	8,822,067
連結財務諸表の資産合計	33,575,813	37,265,026

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表 計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	1,961,330	1,677,467	6,616	5,597	1,967,946	1,683,064
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,120,048	527,350	7,137	7,687	2,127,185	535,038

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、当社のシステム改良に伴うソフトウェア等の増加額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	3,119.91円	3,295.67円
1株当たり当期純利益	226.72円	289.57円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,747,649	2,233,776
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,747,649	2,233,776
普通株式の期中平均株式数(株)	7,708,277	7,714,068

- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	24,101,047	25,467,338
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	48,500	34,741
(うち非支配株主持分)(千円)	(48,500)	(34,741)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	24,052,546	25,432,597
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	7,709,367	7,716,971

- 4 純資産の部において、自己株式として計上されている「役員報酬BIP信託口」に残存する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含まれております。
1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度65,014株、当連結会計年度59,164株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度63,914株、当連結会計年度56,194株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動 (2021年6月29日付予定)

・新任取締役候補

取締役 鈴木 竜行 (現 当社執行役員センサ統括部長)

取締役 笹渕 博志 (現 当社執行役員営業本部長)

・退任予定取締役

常務取締役 濱田 拓実

常務取締役 細井 和郎